

リーディングDXスクール事業【実践事例】

岩沼市立岩沼小学校

【取組内容】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を図る指導「方法選択型探究学習」

方法選択型探究学習の真髄【2段階構成】

ポイントは、授業が2段階構成であるということ

3年生算数「かけ算」

23×3の計算の仕方を自己調整しながら解く。



23×3のかけられる数を10と13に分けるのはどうか？

思考と議論

4年生算数「面積」

複合図形の面積を自己調整しながら解く。



この場合であつたら、どの解き方が最適か？

思考と議論

6年生理科「生き物のくらしと環境」

食物連鎖・生態系ピラミッドを調べてまとめる



生態系ピラミッドの一部がいなくなったら、このピラミッドはどうなる？

思考と議論

自ら学び得た知識を活用させ、「深い学び」へ

単元内自由進度学習

メリット

- ・自律的に学ぶ資質・能力に大きく働きかける
- ・長期スパンで学びの自己調整と振り返りが起こる

デメリット

- ・おさえるべき内容の定着に個人差
- ・子供の情報活用能力に依存する部分が多い

方法選択型探究学習

メリット

- ・教師の力によって、深い学びへと導きやすい
- ・新しい授業観に臨む教員にとって取り組みやすい

デメリット

- ・自律的に学ぶ資質・能力の高まりには不十分

方法選択型探究学習は2段階構成であることにポイントがある。子供が主体的・対話的に学びを進める場面を1段階目、教師による発問によってさらに学びを深める場面を2段階目と位置付けており、2段階目において子供は得た知識を活用しながら思考していく。自ら獲得した知識があるからこそ、思考の拠り所があり、友達との議論も活性化する。教師の力で「深い学び」へと導いていく段階とも言える。

単元内自由進度学習は、自律的に学ぶ子どもの育成に関して大きな成果が得られるが、反面、内容定着に個人差が生じる。一方で方法選択型探究学習は自律的に学ぶ資質・能力に刺激を与えつつ、教師の力で深い学びへ導くことで内容理解を深めることができると考える。従来の一斉指導の形態を保つこの学習スタイルは、新しい授業観への転換のスモールステップにも成り得ると考える。